

栃木県総合教育センターだより

学びの杜通信

第92号 令和5(2023)年9月4日発行



校内研修等 出張サポート 報告

当センターでは、学校や関係教育機関等からの要請に応じて校内研修等をサポートしています。それぞれの課題やニーズに応じて講話や演習等の研修内容を検討し、各会場を訪問して、実施しています。今夏も県内各地を訪問し、様々な研修会をサポートさせていただきました。依頼が多かった研修内容を分類すると、おおむね下記の通りでした。



「ICT活用研修会」(7/25)の様子
(足利市生涯学習センター)

〔今夏の依頼が多かった研修内容〕

研究調査部・研修部	○情報モラル教育	○学業指導&生徒指導提要	
	○各教科等における指導と評価	等	
教育相談部	○児童生徒の理解と対応	○Q-Uの活用	等
幼児教育部	○生活科の充実		等
生涯学習部	○親学習プログラム	○人権ワークショップ	等



研修例の一覧や
研修依頼・相談は、
こちらを参照

今後も各研修等のサポートに当センターから講師を派遣します。御希望があれば、各部担当まで御連絡・御相談ください。併せて当センターのWebサイトの資料等も是非、御活用ください。

【問合せ先】研究調査部 (TEL 028-665-7204)

教育相談特別講座報告

8月10日(木)に、以下の内容でオンラインでの教育相談特別講座を行いました。
今年度もたくさんの皆様の御参加をいただき、ありがとうございました。

○基調講演 「子どもの主体性を育むための教師の『きく』力」

立正大学心理学部

教 授 鹿嶋 真弓 氏

○シンポジウム 「『きく』を意識した指導・支援の実践」

話題提供者：那須塩原市立豊浦小学校

教 諭 栗原 美紀子 氏

真岡市立真岡中学校

教 諭 鶴貝 昌弘 氏

県立宇都宮工業高等学校

教 諭 泉 亮 氏

指導助言者：立正大学心理学部

教 授 鹿嶋 真弓 氏



＜参加した先生方の声＞

- ・基調講演やシンポジウムを通して、自分自身の日頃の指導を振り返ることができた。
- ・子どもの主体性を引き出すために、講座で学んだ様々な「きき方」を実践していきたい。
- ・教師のきく力が、子どもの主体的な学びにつながる事が分かり、磨いていきたいと思った。
- ・教師が「きく」ことで、子どもが自問自答して、自己内対話をしていくことの大切さを感じた

【問合せ先】教育相談部 (TEL 028-665-7211)